

アルツハイマー型認知症患者 (AD) での ABC 認知症スケールと画像診断との相関性

神澤 孝夫¹⁾²⁾ 野口 亜美梨¹⁾ 空井 沙綾¹⁾ 森田 詠子¹⁾ 清水 みどり¹⁾
美原 盤³⁾

1) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 群馬県認知症疾患医療センター

2) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 脳卒中部門

3) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 脳神経内科

[背景/目的] ABC 認知症スケールと各認知症スケールとの相関性が示されているが、画像的な裏付けはまだない。

[対象/方法] 当院認知症疾患医療センターを 2017 年 4 月から 2019 年 3 月まで受診した 917 例 (平均年齢 76.9 歳 \pm 8.9) のうち、正常、MCI、AD と診断された症例につき、ABC 認知症スケールと画像 (MRI:VSRAD、SPECT:3D-SSP-Z-Score) との相関性を検証した。

[方法] 介護者により評価可能であった 299 例を対象とし、各群の正常 (84 人、77.4 \pm 10.4 歳、MMSE:25.3 \pm 3.3)、MCI (82 人、80.0 \pm 5.6 歳、MMSE:22.2 \pm 5.0)、AD (133 人、80.6 \pm 10.4 歳、MMSE:19.8 \pm 5.) の各画像解析、比較を行った。尚、ABC 認知症スケール各職種問わずランダムに測定した。

[結果] 各群の ABC 認知症スケール平均は、正常:109 \pm 12.3、MCI:100.7 \pm 13.8、AD:92.0 \pm 16.5 であり、全症例で MMSE と ABC 認知症スケールの相関比を求めると、0.43 と生の相関を示した (MMSE、NPI-D、DAD、CDR も相関あり)。画像では (VSRAD:0.65、3DSSP-Z-Score; 頭頂葉皮質血流:0.56/後部帯状回 & 楔前部:0.47) 相関性を示した。

[結語] ABC 認知症スケールは、AD 患者において、他認知症スケールだけでなく画像解析パラメーターとも優位な差を示した。